

自動車の床下まわりのサビ対策はニットクにおまかせください。

モービルハローシリーズ

# 水性ガードコートEN

【初版】

「水性ガードコートEN」は、サビ対策の決定版！  
 水性で臭気が少なく、作業者や環境にも配慮した自動車床裏用防錆材です。  
 ホールハウスや床下まわりに施工されている  
 「アンダーボディーコーティング(UBC)」に含まれる  
 可塑剤の影響を受けにくく、付着性に優れた商品です。



## 特長

### 1 作業者、環境をガード

水性塗料で臭気が少なく、シックハウス対策、厚生労働省の規制を受ける化学物質は含有していないため、安全性に優れています。

### 2 跳ね石からガード

耐チッピング性に優れるため、長く車体を保護します。

ナット落下試験で、「水性ガードコートEN」の優位性を評価しました。

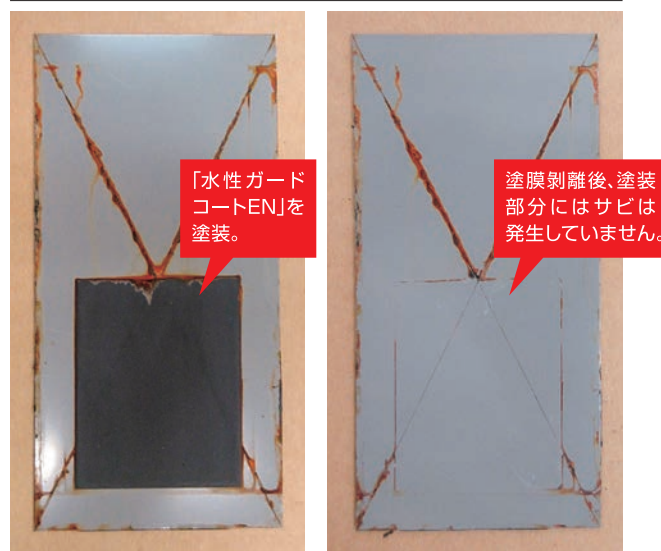
	ナット落下耐久回数
水性ガードコートEN	11回
市販品(油性)	5回
市販品(水性)	4回

※ナットを高さ2mから500g/回落下させ、キズが基材に達するまでの回数を評価。

### 3 塩害からガード

凍結防止剤や潮風による塩害から車体を保護します。

#### ●塩水噴霧試験 10日間暴露



「水性ガードコートEN」を塗装。

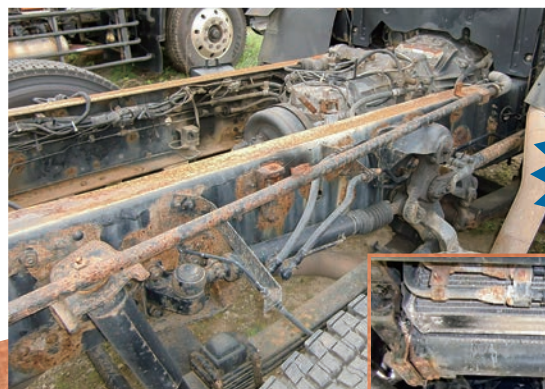
塗膜剥離後、塗装部分にはサビは発生していません。

●電着板にクロスカットを入れ、部分的に「水性ガードコートEN」を塗装しました。

●試験後に塗膜を剥離して、サビの発生状況を評価しました。

## 用途

- 自動車
- 特殊車両(除雪車など)
- トラック
- バス・ポトルカー など



こうなる前に対策を！



## 標準塗装仕様

工程	材料の調合	塗装方法	塗りつけ回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> )	膜厚(μm)	乾燥時間(23℃)
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ホコリ、泥跳ねなどの汚れを除去・洗浄してください。</li> <li>●洗浄した車体を、充分乾燥させてください。必要であれば、エアブローやウエスで拭いてください。</li> </ul> ※サビの上には付着しません。					
マスキング	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バンパーやボディ表面にミストがかからないようにマスキングしてください。</li> <li>●マフラー、触媒コンバータ、ラジエーター、ブレーキのディスク・ドラム・ロータ・キャリパーにもマスキングしてください。</li> </ul>					
上塗り	●水性ガードコートEN ……16kg ……5kg	●スプレーガン(圧送式)*1 ●エアレス*2	1回塗り	0.75~0.90	●Wet膜厚: 450~550 ●Dry膜厚: 250~350	24時間以上

※1:【推奨塗装機】

加圧式コンテナ:アネスト岩田(株)社製、型番 PC-19R  
 圧送式スプレーガン:明治機械(株)社製、型番 F210-P15P

【推奨塗装条件】

塗装圧力:0.2~0.30MPa、口径:1.5~2.0mm

※2:【推奨塗装機】

エアレスポンプ:グラコ(株)社製、型番 マーキュリー(30:1)  
 エアシストガン:グラコ(株)社製、型番G40AAガン、チップ419、423、519

【推奨塗装条件】

塗装圧力:0.3~0.4MPa(×30倍 9~12MPa)、エア圧力:0.2~0.3kg

●塗装機は、サビを防止するために水性塗料専用の機器にしてください。

### 「水性ガードコートEN」取り扱い上の注意事項

(よく読んでご使用ください)

- 気温5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 屋外施工では、翌日までに降雨、降雪が予想される場合の施工は避けてください。
- 材料は直射日光を避け、室温5℃以下、35℃以上にならない屋内で保管してください。
- ふたの開閉部に付着した塗料は拭き取り、できるだけ清潔な状態を保持してください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようし、必要に応じて手袋及び前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをして凍結を避け、直射日光の当たらない場所を定めて保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 塗装器具は使用後速やかに水洗いしてください。
- 環境対応製品は環境に配慮した材料を用いていますが、ご採用いただいたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
- 詳細は警告ラベル、または安全データシート(SDS)をご参照ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

## 日本特殊塗料株式会社

■お問い合わせ先

東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 ☎(03)9913-6203 FAX(03)9913-6323  
 平塚営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739  
 名古屋営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12 ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124  
 大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12 ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560  
 広島営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256  
 福岡営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762

■代理店